

まごころ通信

平成20年7月18日発行

第12号



『2級ヘルパー養成講座』

平成20年度 皆さまからお寄せいただいた、寄付金の一部を活用しての『2級ヘルパー養成研修事業』です。

ガイドヘルパー養成講座も開催します。詳しくは4頁をご覧ください。

主な内容

2級ヘルパー養成講座.....	1	自立とは.....	5
平成19年度事業報告.....	2	平成19年度共同募金報告.....	6
平成19年度決算報告.....	2~3	まごころ(浄財寄付).....	7
ボール運動「でかけよおや」.....	3	千代田高校バザー、	
ガイドヘルパー、フェルト教室.....	4	レクリエーション用具.....	8

平成19年度 北広島町社会福祉協議会事業報告

(総括)

平成19年3月任期満了に伴う役員改選で、理事12名中10名が新たに就任いただいた。評議員についても4月から25名中16名が新任となり、平成19年度は新体制によりスタートした。職員についても、事務局長をはじめとする管理職の異動を行なった。さらに、町行政からの人件費補助の大幅削減により、芸北・千代田・豊平の各支所長はやむをえず専任から兼務とした。また、介護事業課については登録ヘルパーを含めると70人を超える職員数であり、事業所ごとにリーダー（中間管理職）制を取り入れた。

職員の資質向上の取り組みとして、平成18年度から始めたチャレンジ目標を継続し、職員個々が目標を定め、その目標達成に向け努力した。さらに、職員からの提案による業務点検項目を全職員が毎日チェックする業務振り返りを実施した。これらの取り組みにより平成17年4月の合併以来やっと職員が組織を意識し、気持ちが丸と

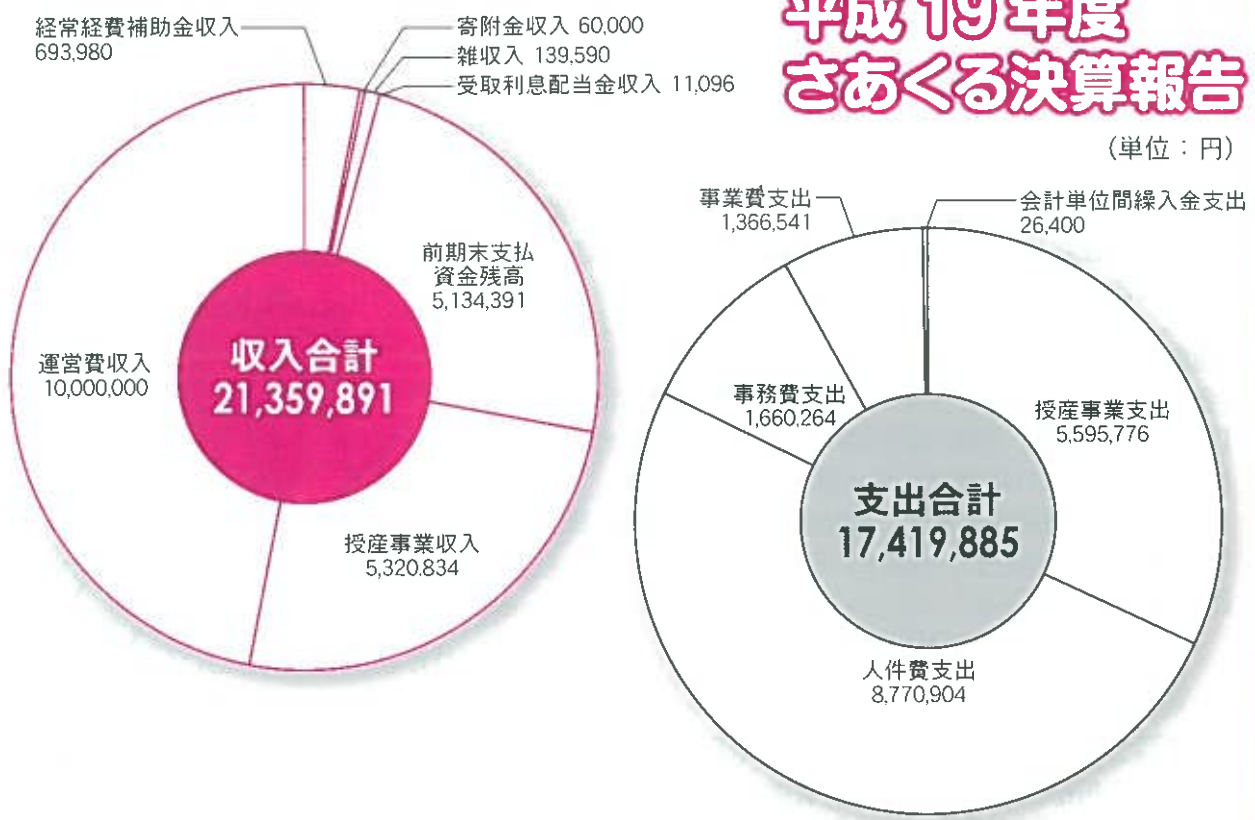
なりつつあると評価する。

規程変更は、松籟荘の建物を基本財産とする定款変更をはじめ、合併時に調整できていなかった職員給与の調整を行なうため、給与規程、事務局組織規程等を、民生福祉資金の貸付については実態に適した運用が図れるように、及び、登録ヘルパーの就業条件の緩和のためそれぞれの規則を一部改正した。また、会員規程、福祉車両貸出規則、財産保管サービス事業規則を定め新たなサービスを始めた。

総論として、北広島町社協の理念である「私が私でよかったなみくんな大好き北広島町」をめざして職員の連携と資質向上に向け組織的に動き出した年度である。住民主体による地域づくりが推進され、同時に地域から信頼され必要とされる社協であるよう引き続き各事業の取り組みを通して目標の達成を目指すものである。

平成19年度 さあくる決算報告

(単位：円)



ボール運動教室 「でかけよおや」

暑くなりましたね。暑い時には、家から出かけることなく、クーラーの効いた部屋で、冷たい飲み物をガブガブ飲む。いいですね～!?しかし、本当にこれで良いのでしょうか？暑いからこそ、気持ちの良い汗をかいて、しっかり水分補給をしましょう。疲れが取れますよ！

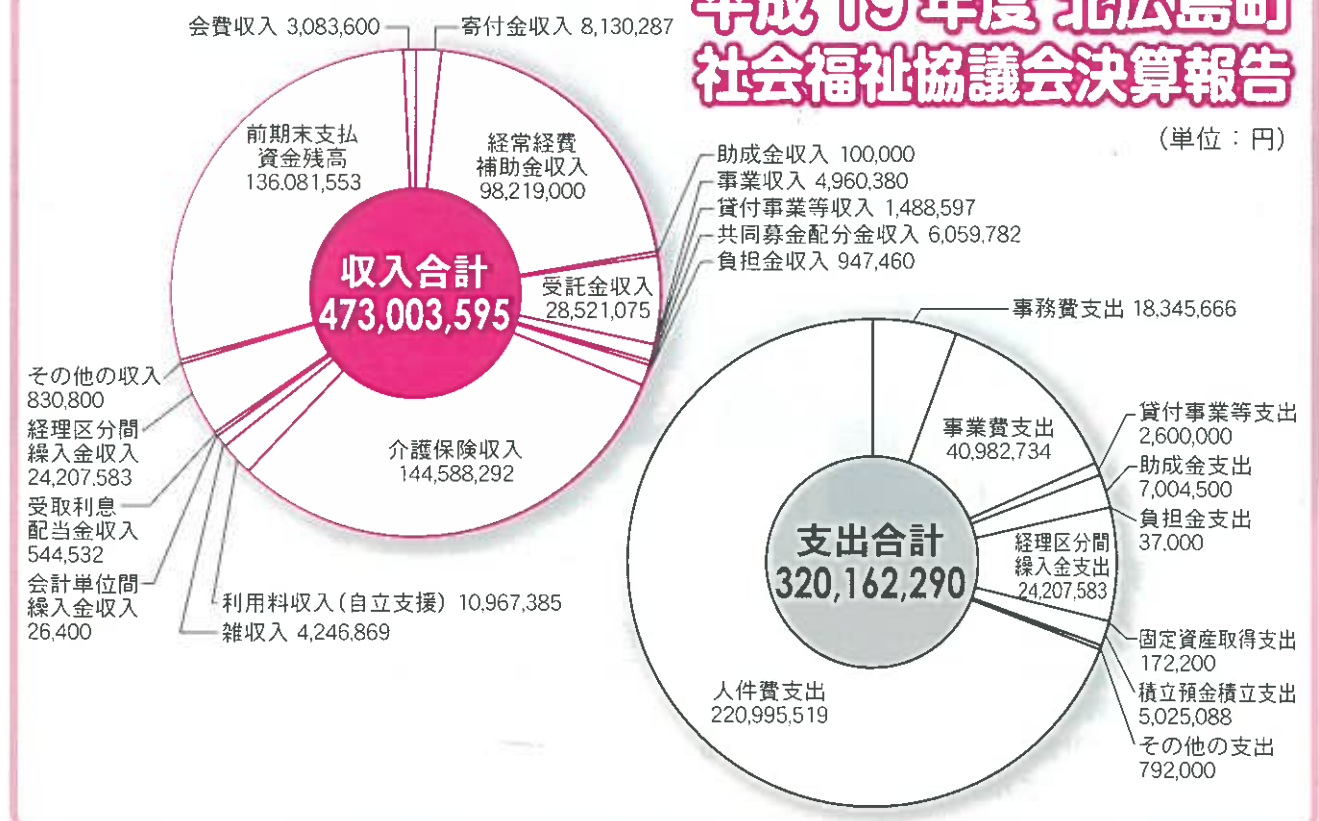


教室の中で「でかけよおや倶楽部」と名付けたミニ講座をしています。「何気なくしている運動が、実はこんな部分にこんな効果がありますよ」というミニ知識をお伝えしています。5分間という短い時間ですが、わかりやすく伝えられるよう、試行錯誤しながらやっています。みなさん一人ひとりが参加されてこそ、教室ができていきます。元気になるため、友人に会うため、笑うため、参加される理由はいろいろですが、出かける場の一つにしてもらい、出会って笑って、また再来週!!

お出かけの時は、紫外線対策をお忘れなく。

平成19年度 北広島町 社会福祉協議会決算報告

(単位：円)



“自立”とは With the independence

「障害者自立支援法」「日常生活自立支援事業」「生活保護自立支援プログラム」など、昨今の福祉では“自立”という言葉が頻りに使われています。また、福祉ではありませんが、身近なところでは、市町村合併（地方分権）で言われる「自治体や地域の自主性や自立性」があります。

それでは、“自立”とは、どんな状態のことをいうのでしょうか。何をどうすれば“自立”なのでしょう。平成20年1月18日に東京で、同月25日に大阪で開催された「介護保険の被保険者・受給者範囲シンポジウム」での京極高宣^{※1}氏の基調講演を紹介します。

以下、報告書^{※2}からの抜粋です。

今から30年ぐらい前ですけど「これからの福祉は、自立という考え方が基本になっていく」と言ったら、先輩の先生たちみんなに怒られました。自閉症にかかわっている先輩は「京極君、何を言うんだ。自閉症の子どもや障害児に自立なんて、ありえないんだ」などというふうにおっしゃった。私は反論して「それは自立と自助を間違えているからだ。障害児に自助だけを求めることはできない。自助だけですむのだったら、専門化による援助は必要ない。」と、かなり論争しました。……自助はセルフヘルプ（self help）、自立はインデペンデンス（independence）。自立とは、自助、互助、公助という手段の組み合わせによって実現することが可能な目標概念です。たとえば、重い障害や疾病をもつ者でも自立した生活は目標概念として認められるべきです。軽い障害や低所得層のみに自立を求める考え方は経済的自立に偏向した経済主義的な誤りである。……自立には三つの条件があります。一つは、自己決定ないし自己選択。二つは、自己可能性の追求。三つは自主的に運用すること。これを国や地方、個人というふうにあてはめると、国の場合は独立、個人とか地域のときには自立（英語では独立も自立もともにインデペンデンス）という言葉を使います。

独立国家が従属国家、植民地国家を区別するときどうするかといいますと、外国から援助を受けたときに、1番目の要素の自己決定、自分で決めて援助を受けたのか、押しつけられた援助なのか。これは決定的に違いますね。2番目の「自己可能性の追求」。これはたとえば弱い国が外国から、食料や機械製品など、いろいろな援助を受けるときに、自己決定だったとしても、それによってどんどん自国の農業を破壊したり産業がダメになったりしてしまうと、これは自己可能性の追求ではなくて、自己可能性の否定（破壊）ですね。それから3番目の、「自律性」とか「自己運営」ですけども、援助されたものをどう組み合わせ、どうやっていくかという運用の自主的仕方。ちょっと能率は悪いかもしれませんが、みんなで考えて、みんなでやるというふうには、やり方もみんな自主的にすることが必要です。外国が主として、ああしろ、こうしろとやっていたのでは、独立国とはいえません。……。

※1 京極高宣 平成7年より日本社会事業大学学長を経て、現在、国立社会保障・人口問題研究所所長

※2 冊子 財団法人長寿社会開発センター「介護保険の被保険者・受給者範囲シンポジウム」報告書
H20年3月発行

ガイドヘルパー養成講座を開催します!

ガイドヘルパーは障害を持つ人の外出を支援し、障害者の自立と社会参加を促進することを目的とします。障害者が外出する際に歩行や車いすの介助、あるいは外出先での食事の介護などを安全面に留意しながら行い、地域社会での自立した生活と社会参加を支援します。

今回の養成講座では全身性障害者移動介護・視覚障害者移動介護の2課程が3日間の受講で取得できます（修了試験などはありません）。修了者には、厚生労働省が定め広島県が指定した修了証書が発行されます。

- 【開講日】 9月14日（日）・20（土）・27（土）
- 【会場】 大朝福祉センター 北広島町大朝 2513-1
- 【定員】 20名（定員になり次第、締め切らせていただきます）
- 【内容】 全身性障害者移動介護従業者養成研修、
視覚障害者移動介護従業者養成研修の2課程
- 【受講料】 20,000円（テキスト代を含む）
- 【対象】 介護福祉士、ホームヘルパー2級以上^{※1}、
看護師、准看護師、保健師の資格をお持ちの方

※1 現在受講中の方も可能です。



注1) ホームヘルパー2級の資格を取得していると知的障害者の外出介助は行えますが、視覚障害、全身性障害の方の外出介助はガイドヘルパー資格を取得しなければ行うことはできません。
注2) 受講を希望される方は、8月29日（金）までに北広島町社会福祉協議会（☎0826-82-2680）へお申込ください。

フェルト教室はじまりました!!



～可能性を信じて～

大朝福祉センターで、フェルト教室が開催されています。6月は「コースター」と「ペットボトルケース」を製作しました。7月以降はバッグや帽子の製作に取り掛かります。

参加者の皆さんも初めは「自分にできるのか」「難しいのかな」とドキドキしていましたが、やわらかな羊の毛の感触に「おもしろい」「誰にでもできるね」と、フェルトの不思議な世界に魅了されています。フェルト教室を通じて、仲間との出会いやフェルトの無限の可能性を実感されています。また、教室の終了時に皆さんの作品を展示して観賞会を行います。どれも同じ色はなく形も様々で、「この色の組み合わせもいいね」「空みたいに優しい色だね」など、お互いを褒め合い、新たな発見に繋がっています。



フェルトは、力任せにちぎったり擦ったりすると上手く出来上がりません。相手を思い遣るように優しく擦ることで羊毛が馴染んでいきます。また、手が暖かいとより早く羊毛が馴染んでくれます。フェルト作りは、まるで人の心と同じですね！羊毛との出会いは、皆さんとの出会いや様々な可能性に繋がっています。

是非1度フェルト教室の見学にいらしてください。

8月は1日と8日 13:30～ 於 大朝福祉センター

平成19年度共同募金報告

赤い羽根共同募金活動に対し、毎年温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。
北広島町支会では、一昨年から申請方式を取り入れ、北広島町内を範囲とする地域福祉活動や地域づくり活動を推進する団体の事業を支援することを目的として実施いたしました。

平成18年度共同募金実績による 平成19年度事業充当分の報告

高齢者福祉事業	445,000円
障害児・者福祉事業	602,000円
児童・青少年福祉事業	610,000円
住民全般福祉活動事業	2,902,782円
合計	4,559,782円

一般配分金合計 **4,559,782円** 内訳

○団体助成72団体	3,377,000円
○社協事業分	1,182,782円
合計	4,559,782円

社協事業分は、広報活動事業・子ども映画会・障害者外出支援事業・福祉車両維持等に活用いたしました。



平成19年度共同募金実績による 平成20年度事業充当分の計画

平成19年度募金総額

戸別募金	3,592,500円
街頭募金	89,272円
法人募金	1,950,590円
学校募金	94,385円
職域募金	381,335円
イベント募金	131,895円
その他の募金	570,131円
合計	6,810,108円

広島県共同募金会

H19年度の募金総額からA募金※(2,344,000円)を差し引いた金額がH20年度に北広島町に還元されます。

一般配分金 **4,466,108円**

平成20年度の計画

高齢者福祉事業	755,000円
障害児・者福祉事業	382,000円
児童・青少年福祉事業	790,000円
住民全般福祉活動事業	2,539,108円
合計	4,466,108円

※A募金=①(H18.11月末の北広島町住民基本台帳世帯数8,145世帯)×0.9×80円=586,000円
②H19募金実績7,033,782円×0.25=1,758,000円 ①+②=2,344,000円 *100円単位切り捨て
A募金は「広島県共同募金会広域募金」として集積され、各市町の特別事業または団体等に配分される財源となります。

今後の活動スケジュール(予定)

- ◇募金活動……H20年10月～12月→(毎年決まった期間です。)
- ◇申請募集期間……H21年2月(1カ月間)→(H21年度事業分の申請です。)
- ◇審査委員会……" 3月中旬
- ◇助成決定通知……" 4月～5月
- ◇助成金交付……H21年6月～7月→(県からの入金状況により前後する可能性があります)



社協活動を支える善意銀行

明るく住みよい町づくりに役立ててほしいと、次の方々から香典返礼、見舞返礼等あたたかいご寄付をいただきました。

この浄財は、ご趣意にそい、社会福祉事業資金として活用させていただきます。

ありがとうございます。

自 平成二十年三月
至 平成二十年六月

芸北地区

【香典返礼として】

東八幡原	柏原	次郎	亡妻	ヤスエ
大暮	坂根	房一	亡妻	トモヨ
高野	友田	俊彦	亡妻	ヨシエ
橋山	斉藤	孝吉	亡母	久子
溝口	福原	一春	亡父	一人
大原	藤原	願正	亡母	ハツミ
草安	岡本	博行	亡父	逸登
栗八幡原	井居	勇次	亡母	チサコ

大朝地区

【見舞返礼として】

東横	湯浅夕子	信江	亡母	門前
後有田	植田	文子	亡母	昇
田原下	竹岡	宏毅	亡父	金枝
登	岩見	義登	亡妻	義登
大塚市	具路	忠義	亡兄	春夫
間所	井藤	俱子	亡子	一哉
上野	佐伯	幹男	亡父	八洲男
境	石橋	一也	亡母	文江
胡町	樽本	芳子	亡子	誠一郎
女鹿原	堀田	範雄	亡父	春三

【香典返礼として】

荒神原	萬田	博・佳子	妻	トモヨ
大暮	坂根	房一	妻	トモヨ
荻屋形	足利久美子	(さあくるへ)		
川小田	片桐トヨミ			
雲耕	摩江マツコ			
奥中原	安達	繁人		
川小田	沖野	文次		
草安	梅本	芳枝		
才乙	菅原	保登		

千代田地区

【香典返礼として】

小枝	藤田	貞雄	亡父	憲三
女鹿原	羽田	國道男	亡母	ハルエ
登	中田	スミヨ	亡妻	アイコ
田原下	平田	義孝	亡母	静枝
田原上	榎野	正行	亡母	ユキエ
一丁目	石橋	美代子	亡母	トナミ
登	竹増	ユキキ	亡母	ユキエ
五丁目	梅田	勝政	亡母	トナミ
立石	藤上	卓己	亡母	トナミ

豊平地区

【見舞返礼として】

長笹	下河内	悟	亡母	英子
長笹	板倉	守	亡母	タマコ
今吉田	北川	敏子	亡母	政人
今吉田	加藤	重美	亡妻	タマコ
琴原	上原	毅	亡母	政人
中木	東	正治	亡父	八重子
阿坂	森岡	敏男	亡妻	八重子
都志見	藤川	富士子	亡夫	俊弘
阿坂	岡	辰彦	亡夫	弘美
都志見	山口	吉美	亡父	軍一
長笹	瀧川	進	亡父	勝

【篤志寄付として】

有田	倉本	松生	亡母	玉慧
有田	大倉	賢三	亡母	幸枝
王生	森山	聖児	亡祖母	山ノリ
王生	佐多	尚文	亡父	二

県立千代田高等学校生徒会
文化祭バザー収益

地域のために役立てて!!

広島県立千代田高等学校生徒会から『地域のために役立ててください』と、文化祭のバザー収益金を寄付していただきました。

【寄付の理由】

私たち千代田高等学校生徒会は6月14日(土)に「GREEN DAYS」成長の日々」をテーマに、平成20年度文化祭を行いました。地域の皆さんにもたくさんご来校いただき、吹奏楽・軽音楽・神楽などのステージ発表や、教室展示・各ク



(左) 高橋会長 (中) 会長 伊藤 慎君 (右) 副会長 岡野宏美さん

ラブ展示をご覧いただき、励ましのお言葉をかけていただきました。おかげで好天に恵まれ、食バザーや日用品バザーの売れ行きも良く、無事に文化祭を終えることができました。

私たちが千代田高校で勉強し、学校行事やクラブ活動など高校生活を楽しく過ごせるのは、家族や地域の皆様のおかげだと感謝しています。

本日は、バザー収益金の一部をお持ちいただきました。わずかな金額ですが、ぜひ地域のために役立てていただくとよろしくお願ひします。



たくさん笑顔が生まれています!!

レクリエーション用具貸出事業

北広島町社協には、たくさん遊具があります。地域の皆さんに多く活用して頂けるように、様々な遊具をミニ社協だよりで紹介しております。紹介を始めて3カ月、地域のサロンや老人クラブ、子ども会やチャレンジデーなど、様々な場面で遊具が大活躍しています。遊具を利用された皆さんからは「自然に楽しく体を動かせた」「たくさん笑顔を見ることができたよ」など好評を頂いております。今後ミニ

二社協だよりで遊具を紹介しますので、是非、地域の集いや活動に活用してください!!



編集後記

夏が来れば思い出す子どもの頃の風物詩の一つ「蚊帳」があります。

夜になると蚊帳を吊り、その中に親子や兄弟で入り一緒に寝ていたことが懐かしく思い出されます。ときにはつかまえた虫を蚊帳の中に放ち幻想的な光を楽しんだものです。今思えば懐かしく思い出されます。子どもたちも夏休みが始まります。楽しい思い出をたくさんつくりたいですね。

北広島町の大切な子どもたち、地域で過ごすことの多い夏休みです、地域へのおみやげを守り、育てていきたいと思います。

社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会

□本所
〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝 2513-1 大朝福祉センター内
電話 (0826) 82-2680 FAX (0826) 82-2778

□芸北支所 〒731-2322 広島県山県郡北広島町細見 161
電話(0826)35-0144 FAX(0826)36-3013
□千代田支所 〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田 504
電話(0826)72-4670 FAX(0826)72-7071
□豊平支所 〒731-1711 広島県山県郡北広島町戸谷 1088-1
電話(0826)83-0050 FAX(0826)85-0005

この広報誌は、みなさまからの会費や共同募金の配分金により作られています。